

長久手市行政評価票

事業番号	33	事業の名称	農楽校事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	産業緑地課					
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(7)農のあるくらし・農のあるまちを支える	施策の進め方	(1)遊休農地の解消	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	農業を行うにあたっての基本的な知識と技術を学ぶ「基礎コース」と、より実践的な知識と技術を習得する「農力向上コース」に分かれ、週1回の実習及び年8回の講義を実施する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:日進アグリスクール(初、中、上級コース) 東郷町:東郷農学校、東郷軽トラ市 瀬戸市:せと農業塾(担い手コース)						
事業期間	事業開始年度	平成16年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	受講生					うち	一般財源	1,579	1,688	1,925	1,870	1,891
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	多様な担い手として、農業に従事してもらおう。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	420	456	510	435	510	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~   7月~   10月~   1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① ほ場実習の実施	受講生	→	農業に対する理解、関心を深め、就農のきっかけとしてもらう。	60回実施 (臨時含む)	農楽校をきっかけに、今後何らかの形で農に携わりたいと答えた受講生の割合	100 100 100	%	全受講生(100%)	1,515 1,861 1,827	1,640 1,830	消耗品718、コーチ報償金659、光熱水費277、燃料費27、食糧費3、賄材料費9、火災保険料4、自動車損害保険料8、損害保険料56、借地料26、備品購入43	A 維持 維持	現行通り実施する 修了後の就農支援を行なう
② 講義の実施	受講生	→	農業の幅広い知識を習得し、実習に役立ててもらおう	10回開催	講義が役に立つと答えた受講生の割合	97 100 100	%	全受講生(100%)	64 64 64	48 40	農楽校講師(座学講師分)40	A 維持 維持	現行通り実施する
③ 野菜販売実習	受講生	●	出荷の際に必要な作業等を学び、野菜の栽培から販売までの一連を学んでもらう	2回開催	販売実習が今後役に立つと答えた受講生の割合	89 100 100	%	全受講生(100%)	0 0 0	0		A 維持 維持	現行通り実施する 農楽校のPR、長久手「農」のPRを実施する
④ 農産加工及び収穫体験	市民	●	食育の観点から、市民に長久手の農に触れる機会を提供する		味噌作り体験 漬け物作り体験 収穫体験	0 65 65	人	前年度の参加者数(味噌作り20、漬け物作り14、収穫体験31)を目標とする。	0 0 0	0	①に含まれる	A 維持 維持	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	